

2014年度

公益財団法人 そらぷちキッズキャンプ 事業計画（案）

2013年11月にキャンプの目標としてきたシリアスファン協会（「SeriousFun Children's Network」以下〔SF〕とする。）の準会員の資格を得たことを踏まえ、2014年度をそらぷちキッズキャンプの難病の子供たちのための自然体験施設としての本格的な活動の開始の年度と位置づけ、各種のキャンププログラムの提供を行うとともに、SFのクライテリア等に準拠した運営体制の整備及び持続、継続的なキャンプ運営を実現するために必要な組織体制及びキャンプ施設の充実を図る。

1. 持続、継続的な事業展開を可能とする事務局体制の見直し等

SF準会員登録を踏まえ、持続、継続的なキャンプ運営を実現するための適正かつ効率的な組織、管理体制の見直しを行う。

- (1) 厳格な予算管理のため、予算執行にあたって事業内容の検証を行い、実行予算の軽減を図る。
- (2) 3か年程度の中期的な財政計画を策定し、収支のバランスを実現するための組織体制、事業計画に基づく予算編成、ファンドレイジングを推進する。
- (3) 北海道、東京の事務局体制の見直しを行い、北海道への事務局体制の集約を進める。
- (4) キャンプ実施業務の効率化と適正な人材の配置を進めるとともに、給与体系、勤務体系の抜本的な見直しを行う。
- (5) 各種の規程類の見直しを行い、適正な職務分担や決裁区分等の明確化を図る。
- (6) 勤務時間の適正化や休日の適正な取得を実行し、職場、労働環境の改善を図る。

2. 病気と闘う子供たちの自然体験事業の実施等

(1) キャンプ事業の実施

①キッズキャンプ

- ・小児がんの寛解期の子供を対象として、8月中旬に3泊4日のキャンプを実施。
参加人数：20名程度

②ファミリーキャンプ

- ・重症心身障害児と家族を対象として9月に3泊4日のキャンプを2回実施。
参加人数：2家族(10名程度)×2回=20人程度
- ・小児外科系疾患の子供と家族を対象として1月に1泊2日のキャンプを実施。
参加人数：8家族×4人程度=32人程度
- ・小児がんの寛解期の子供と家族を対象として2月に3泊4日のキャンプを実施。
参加人数：8家族×4人程度=32人程度

③グループ(団体)キャンプ

- ・難病児関連団体を対象として8月に3泊4日のキャンプを実施。
参加人数：8家族×3人=24人程度
- ・滝川市こども発達センターの発達障害児と家族を対象に6月(1泊2日)及び2月(デイキャンプ)にキャンプを実施。
参加人数：15家族×4人程度×2回=120人

<参考>平成25年度キャンプ実績

- | | |
|-----------|----------------------|
| キッズキャンプ | ・8月夏キャンプ |
| ファミリーキャンプ | ・1月冬キャンプ |
| グループキャンプ | ・7月滝川市こども発達支援センター |
| | ・9月奈良大阪レスパイトキャンプ |
| | ・9月北海道二分脊椎症の会 |
| | ・10月難病の子ども全国支援ネットワーク |
| | ・2月滝川市こども発達支援センター |

(2) 医療支援体制の充実

キャンプ中の医療支援を行うとともにキャンプ前の家族説明会、家庭訪問等きめ細かな医療支援を実施する。また、SFの求める医療水準確保のために必要な医療支援体制の充実を図る。

- ・災害時等に対応するための医療用バックアップ電源の整備等医療支援装置、設備等の計画的な充実を図る。
- ・キャンプ期間の延長、キャンプ回数の増加に対応するため、医療機関との連携強化に加え有償ボランティアの導入に向けた試行を行う。

- ・キャンパー募集及び医療支援体制の充実のためキャンパーの情報の一元管理システムの整備を進める。

(3) キャンププログラムの充実

キャンプ参加者への安全かつ楽しいキャンププログラムの提供を行うとともに、馬プログラム等のプログラムの充実に必要な施設整備及び人材の充実を図る。

- ・キャンプの中核プログラムとなっている乗馬プログラムの充実のため「北海道障害者乗馬センター」と共同でプログラム開発を行うとともに、乗馬の常駐化を目的に「滝川市羊の館」の使用協議を進める。また、馬係留施設整備計画の具体化を進める。
- ・プログラム関係ボランティアの確保のため、SF提出ボランティア募集・育成システムの対応したボランティア研修を5月及び11月に実施するとともに、有償ボランティアの導入に向けた試行を行う。
- ・ツリーハウス周辺等プログラム関連施設・設備の充実を図る。

(4) 広報及びファンドレイジングの推進

SF準会員登録を踏まえ新たな広報PRファンドレイジング戦略を策定するとともに、役員を含む財団が一体となった広報及びファンドレイジング活動を推進する。

- ・アニュアルレポート（日本語、英語）の内容の充実を図るとともに、会員・支援者・協力者等への配布及び新たな支援者の開拓ツールとして活用する。
- ・HP等インターネット上でのPRためHPの積極的更新等を行う。
- ・キャンパーの個人情報保護等に配慮しつつ、TV、新聞等マスメディアへの積極的な露出をはかる。
- ・支援団体等のイベントPRに積極的に参加する。
 - 2014年6月 コールマンジャパン株式会社
 - 2015年2月 東京マラソン財団
 - 3月 日本チェーンドラッグストア協会 他
- ・店頭募金箱の設置拡大のための依頼活動を実施する。
(日本チェーンドラッグストア協会、個別店舗他)

(5) 効率的な施設管理及び整備の推進

安全、快適なキャンプの提供のための施設管理を推進するとともに、施設及び設備の効率的な管理運営を徹底し管理コストの軽減を進める。また、キャンプ運営に必要な施設及び設備の計画的な整備を進める。

- ・浄化槽等の設備維持、草刈り、除雪等の屋外管理、施設清掃等については外部委託の拡大により人件費等のコストの軽減を図る。
- ・森エリアのツリーハウス木道や森エリアアブローチルート簡易照明設置、乗馬用屋外

スロープ設置などプログラムの充実に必要な施設、設備等の整備を行う。

(6) シリアスファンとの連携の強化

シリアスファンとの連携の強化のため、準会員に求められるキャンプ運営上の様々な基準に対応するとともに、各種の情報交換をウェブ会議や現地打合せ、研修会、スタッフ相互交流などを積極的に行う。

(7) 調査研究事業の実施

日本財団の支援のもと、日本の小児レスパイト施設のあり方を、実践者へのヒアリングを中心に調査し、難病の子どもや家族、家族会等のニーズ調査や、そのニーズにあったキャンプ運営手法の研究につなげる。

(8) 各種学会等への参加

医療ネットワークの拡大を主な目的とし、各種関係学会等へ参加し、広報PRを実施する。

2014年9月に日本小児麻酔科学会（北海道）

2014年11月に日本小児がん学会（岡山）

(9) その他の事業等

- ・滝川市をはじめ、人形製作ボランティア、設備維持管理ボランティア、広報PRボランティア等地域支援団体との連携を強化する。
- ・市民との交流、施設開放を行う「市民開放イベント」を7月と10月に開催する。
なお、7月のイベントでは、SF準会員登録とキャンプの本格実施を記念して「そらぷち10年展」ブース等を設置、公開する。

※別紙「年間事業スケジュール（概要）」参照

■2014 (H26)年度 年間事業スケジュール(概要)案

	キャンプ	広報PR	備考
	夏キャンパー募集↓		
4月	ボランティア募集↓(研修キャンプ春)		
5月	5/3(土)～5(月祝) ボランティア研修キャンプ春 キャンパー選考 ボランティア選考・配置		監事監査(キャンプ場) 監事監査(東京)
6月	6/21(土),22(日) 団体参加デイキャンプ(市センター) ※取材見学不可 ボランティア研修	コールマンイベント出展	6/4(水)理事会(決算) 6/25(水)評議員会(決算)
7月	キャンパー事前説明会・ボランティア研修 キャンパー事前説明会・ボランティア研修 キャンパー事前説明会・ボランティア研修 ボランティア研修	7/6(日)市民開放イベント(ウォーキング他) 7/25(金)ホームマック植樹作業	
8月	8/8(金)～11(月) キッズキャンプ(小児がん) ボランティア研修 8/22(金)～25(月) 団体参加キャンプ(地球冒険)		
9月	ボランティア募集↓(研修キャンプ秋) 9/12(金)～15(月祝) レスパイトキャンプ①(神経疾患家族) 9/26(金)～29(月) レスパイトキャンプ②(神経疾患家族)	9/21(日)小児麻酔科学会 キャンプ場見学ツアー 9/23(火祝)小児麻酔科学会講演(PR)@札幌	
10月		10/12(日)市民開放イベント(ウォーキング他)	
11月	11/1(土)～3(月祝) ボランティア研修キャンプ秋		
12月	冬キャンパー募集 冬ボランティア募集・配置↓	11/28(金)～30(日)小児がん学会@岡山	理事会(補正予算)
1月	ボランティア研修 1/24(土)25(日) 家族キャンプ(小児外科)道内 ボランティア研修		
2月	2/6(金)～9(月) 家族キャンプ(小児がん)全国 2/11(水祝) 団体参加デイキャンプ(市センター) ※取材見学不可	東京マラソンイベント出展	理事会(翌年度予算)
3月	翌年度キャンパー募集↓	ドラッグストアショー出展	